

関係者各位  
プレスリリース

2019年5月30日  
株式会社システム計画研究所／ISP

---

## 製造業向け外観検査ソフトウェア「*gLupe*® (ジー・ルーペ)」バージョン2 令和元年9月に発売決定

---

株式会社システム計画研究所(所在地：東京都渋谷区、代表取締役：門脇 均)は、製造業向け外観検査ソフトウェア「*gLupe*® (ジー・ルーペ)」開発キット バージョン2を、2019年9月に発売することを決定いたしました。



製造業向け AI 外観検査ソフトウェア「*gLupe*® (ジー・ルーペ)」

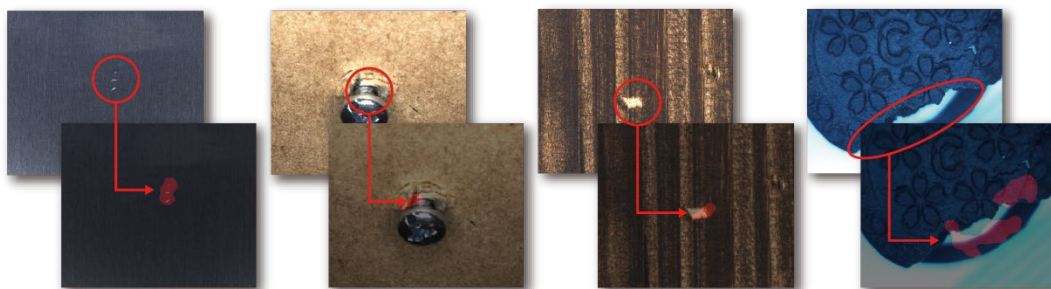
### ◆製造業向け外観検査ソフトウェア「*gLupe*®」とは

Deep Learning を応用した「*gLupe*®」は、当社独自の技術により、少量の正常データのみで学習し、不良品を検出できる外観検査ソフトウェアです。従来手法では、不良品を検出するために「正常データ」だけでなく「異常データ」も大量に収集し、学習する必要がありました。「*gLupe*®」は、数十枚のデータから正常状態の特徴を学ぶことができるため、大量の異常データの収集・学習が不要であり、製造ラインへの導入コストを最小限に抑えます。



少量の正常データのみで学習して不良品を検出

## 事例



その他、溶接部、ゴム、樹脂製品、食品、ハンダ、紙製品、半導体、自動車部品などの実績あり

*gLupe*®を用いた不良検出例

◆*gLupe*® 開発キット バージョン2の発売予定日

2019年9月上旬を予定

◆*gLupe*® 開発キット バージョン2の新機能

*gLupe*® 開発キット バージョン2は、従来の少量の良品データのみで学習できる異常検知機能に加えて、下記機能が追加されます。

- 不良種別分類機能  
少量データで不良種別を分類するための学習をすることができます。従来の良品データのみで学習できる異常検知機能と組み合わせて使用することで、対応できる課題の幅が広がります。
- 簡単前処理機能  
*gLupe*® を使った学習では、精度を上げるために事前に画像処理により前処理を行うことがあります。新しい学習・評価用ツールでは、よく使う前処理が画面上で簡単に設定できるようになりますので、より効率的に学習・評価作業を進めることが可能になります。
- 直感的なG U I  
少量の良品データのみで学習する異常検知、少量データで学習できる不良種別分類、簡単前処理設定が新しいG U I でより直感的に操作できるようになります。追加学習など、学習済みモデルの更新も簡単に行うことが可能です。

## Version.2 の主要機能



gLupe® 開発キット バージョン2 の機能

### ◆ご相談 無料で承ります

gLupe® 購入前のご相談は無料で承ります。gLupe® の適用を検討している検査対象物がある場合は実物や写真をご用意のうえ、お気軽にお問い合わせください。

### ◆gLupe® 必要システム構成

OS : Windows 10 64-bit 日本語版

CPU : Intel Core i5 以上

GPU : CUDA 対応 NVIDIA 製 GPU メモリ 2GB 以上 Maxwell アーキテクチャ以降

### ◆関連リンク

- ・gLupe® 製品ページ

<https://glupe.jp>

### ■会社概要

会社名 : 株式会社システム計画研究所

代表取締役 : 門脇 均

本社所在地 : 東京都渋谷区桜丘町 18-6 日本会館

事業内容 : 医療情報、制御・宇宙、通信・ネットワーク、画像処理、AI の諸分野を中心としたソフトウェア開発、システム開発、システムインテグレーション、コンサルティング、技術開発および製品開発

URL : <https://www.isp.co.jp/>

### ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社システム計画研究所

担当 : 村瀬 知彦・井上 忠治 ([glupe@isp.co.jp](mailto:glupe@isp.co.jp))

TEL : 03-5489-0232

FAX : 03-5489-0225

※記載されている会社名、製品名および名称は各社の登録商標または商標です。